

# 平成 24 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	梅林児童館	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市田端町1番地11		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,242,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:829.92㎡ ◇延床面積:514.44㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、児童クラブ室、事務室 ※留守家庭児童会開設場所		

## ●利用状況

		H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,125	10,162	10,314	12,742	9,670
	移動児童館利用者数	429	295	873	561	1,180
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	16	8	12	9	13
	開館日数(単位:日)	151	157	152	157	151

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、常勤職員(1名)、非常勤職員(3名) ③児童館のおたより「メロディ」の毎月発行・配布(乳幼児用、児童用)、児童館ホームページ、指定管理者の広報誌「ファミリー」に児童館の活動を掲載。 ④常時ご意見箱を設置するとともに利用者アンケートを実施。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。 ②日常清掃は毎日遂行、定期的な玩具の消毒や片付け時には破損等の点検を実施。 ③節電の意識をもち、室温、エアコンの設定温度のチェックを行い使用した。フィルター掃除を職員で定期的に行った。 ④朝、夕の施設外周りの見回り点検を実施。おもちゃ病院に遊具の修理を依頼。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①点検業務により気が付いたところは速やかに職員が実施。 ②簡易な修繕は指定管理者(本部)に依頼し実施。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 接遇や個人情報、セキュリティなどの研修に参加し報告会で全職員に伝達講習を行った。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成24年9月25日・26日・28日に乳幼児クラブ参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答者数33人(回収率100%) 回答者の年代 20歳代10人(31%)、30歳代22人(66%)、40歳代1人(3%) 回答者性別 女性100%
利用者アンケートの実施結果	○職員について ・挨拶 満足97%、ほぼ満足0%、普通3%、やや不満0%、不満0% ・言葉づかい 満足94%、ほぼ満足6%、普通3%、やや不満0%、不満0% ・対応 満足94%、ほぼ満足6%、普通3%、やや不満0%、不満0% ○施設について ・使いやすさ 満足68%、ほぼ満足22%、普通10%、やや不満0%、不満0% ・整理整頓 満足87%、ほぼ満足13%、普通3%、やや不満0%、不満0% ・室内の清掃 満足94%、ほぼ満足3%、普通3%、やや不満0%、不満0% ・換気 満足87%、ほぼ満足10%、普通3%、やや不満0%、不満0% ○乳幼児クラブに参加して ・内容 満足87%、ほぼ満足13%、普通3%、やや不満0%、不満0% ・時間 適当100%、長い0%、短い0% ○親子で楽しめた活動 体操 おんぶ広場(リトミック) ふれあい遊び、ボール遊び、絵本、紙芝居の読み聞かせ等
利用者からの要望・苦情と対応・改善	・要望 ⇒回答 リトミック・英語をやってほしい クラブの回数を増やして欲しい⇒幼児教室の中で希望に添えるような内容を盛り込んで活動を進めていく 飲食できるスペースの設置 ⇒条件はあるが飲食ができるように準備中 駐車場をとめやすくして欲しい ⇒譲り合って使っていただくようお願いすると共に職員も駐車・出入りの誘導の手助けをする

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	B	B
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	S	S
区分評価			A			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				

### ●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	子育て支援事業では、特に幼児室の自由来館の保護者、乳幼児が過ごしやすいように玩具の設定、消毒などの管理を徹底するとともに、来館の皆様にご気持ちの良い挨拶、声掛けをしていくことを重点として対応してきた。アンケートの中でも職員の対応について温かい言葉をいただくことができ、「おもちゃがきれいになった。」遊びやすくなったとの声をいただくことができた。児童健全育成においては、大縄跳び、ドッチボール、季節の活動として編み物などは継続的に行い、子ども達の達成感を持てるまで取り組むことが出来た。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	岐阜市の引き継ぎで地域近隣の住民の方とは落ち葉の季節に特に苦情があったと、聞いていたこともあり秋には朝だけでなく、夕方 住民の方とともに落ち葉掃きを行ってきた。現在も地域との関係は良好である。地域活動では、岐阜梅まつりに参加し地域と交流を深めただけでなく、それをきっかけに初来館される方もあり児童館を知っていただけの場となった。
今後の取組み	・幼児クラブの年齢枠、開催回数を見直し、乳幼児と保護者の利用の幅が広く参加していただけるようにしていく。 ・飲食ができるスペース、時間を設定する。 ・地域の行事に積極的に参加し地域の方との交流を深め、連携を密にしていく。

### ●所管課の意見

<p>児童館のおたよりの配布、ホームページ等の広報活動を実施。</p> <p>乳幼児クラブは随時申し込み可とし利用しやすい形態になった。移動児童館の実回数が多いことは評価できる。児童館の遊具や、図書の貸し出しを行った。乳幼児教室の開催、母親クラブの運営の手助けを行った。幼児クラブでは親子体操やふれあい遊び、季節に合わせた製作遊びなどを行った。</p> <p>その他、利用者の要望の多いリトミックを行う自由参加型乳幼児クラブは継続的な参加者が増えている。</p> <p>事業計画に基づく事業は計画どおり実施した。職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われた。</p> <p>来館利用者数について、児童館・児童センター担当地区の人口増減率で補正後の利用者数と前指定期間の平均と比較。74.8%であることから評価をBとした。</p> <p>グリーンカーテンの設置等、省エネルギーに努め、廃材や不要になった玩具等の有効利用などで管理経費の削減を図っている。今後も経費削減に努められたい。</p> <p>地元の清掃活動や地域行事(梅まつり)へ参加する事で地元へ貢献。また、利用者へより良い支援を提供するため、学校等地元関係機関との連携に努めている。</p>
--

na

### ●指定管理者評価委員会の意見

<p>事業計画書どおり適正に管理運営されており、良好と認められる。</p> <p>他施設の方策を参考とするなどして今後もより充実した活動をしていただきたい。</p>
--